

## 「2020」など国内外の先進事例満載 イー・ロジック角井社長が物流の解説本発刊

「三国志演義に登場する諸葛亮孔明は、ロジスティクスを最優先に考えていた」。物流コンサルタントや通販物流代行を手がけるイー・ロジックの角井亮一社長が、分かりやすいエピソードを満載した物流の解説書「物流がわかる」を出版した。

基礎知識のほか、国内外の革新的現場や国際ハブ空港で見聞した貴重な体験と考察を披露。物流の管理手法も体系的に説明している。読者が自らの仕事に生かせそうなヒントが盛り込まれた一冊だ。

冒頭、一日に全人口の三割近くに相当する約三七〇〇万人がコンビニを訪れているものの、店舗で品切れはほとんど起こっておらず、「高度な物流なしでは今のコンビニは成り立たない」と指摘。日米宅配業務比較なども盛り込んでおり、物流がいかに重要かを容易にイメージできる。物流を作業と捉えて生産性向上や

「物流がわかる」角井亮一  
九〇三円（税込）日経文庫



続ける生き抜く  
常識を革新  
業界必須

経費抑制を進める「物流思考」と、企業戦略に合うよう物流サービスの水準を高める「戦略物流思考」の両方を重視すべきだと主張。「物流を戦略的に捉えらる」と企業力や商品力を上げることができると意義を強調する。

出店者に代わって受注・決済・物流を行うアマゾン、環境に配慮して段ボールを使わない配送を展開するカクヤス、顧客が指定した置き場所に品物を届けるファンケルなど、先進的取り組みの例には事欠かない。

また、物流の新たな動きとして注目されている、実店舗とネット通販を連携したサービス「O2O」(Online to Offline)を実践している企業として、米国の楽器販売会社ギターセンターを案内。ネットで購入して店舗で品物を受け取ったり、複数店舗に分かれた品物を希望する一カ所に集めたりと、柔軟な物流を展開しているという。流通がさらに進化する可能性を感じさせてくれるケースだ。

こうした数々の事例からは、「物流の世界のおもしろさ、ダイナミックさ、新しいビジネスモデルが生まれる最前線を味わってほしい」との著者の熱い思いが感じられる。本書を通じて、物流は企業が生き抜く上での重点分野だと理解する人がさらに増えることを強く願いたい。

(藤原)

## 『ロジスティクスの基礎知識』をグッと凝縮 概念から実務まで五七のトピックを幅広く網羅

物流やロジスティクスのことを全く知らない人に「ロジスティクスって何が大事なの」と素朴な疑問を投げかけられて、的確に受け答える自信があるだろうか。もし、少しでも不安を感じたなら、本書を手取る価値はある。

主たるターゲット読者はタイトルにあるとおり物流業界のフレッシュマンだろうが、異動で新たに物流部門に関わることになったり、専門外の人に解説をする立場となったりしたビジネスパーソン、物流業界に就職・転職を考えている人たちなどにとっても、大きなヒントが詰まっている。

初心者が躓きそうなポイントを重点的に解説してあるから、ロジスティクス分野の知識が何もなくともぐいぐいと読み進められる。全体を通して読めば、基礎中の基礎から話題の分野まで、最低限の論点を手っ取り

「ロジスティクスの基礎知識」  
フレッシュマン必携本 浜崎章洋  
二二六〇円（税込）海響プレス社



り早く確認できる。3PLやKPI（重要業績評価指標）、ROA（総資産利益率）、L/C（信用状）といった、業界では当たり前の専門用語にも丁寧な説明がある。図表や写真を大きく使ったレイアウトで、要点のイメージを掴みやすく工夫してあるため、敷居の高さは感じさせない。

構成をざっと見てみよう。導入部分の第一章は、なぜロジスティクスやSCMが必要とされるのかという根本的な部分からの解説がある。第二章では企業に物流部が誕生した経緯から、物流センター長の役割まで。第三章は陸海空・鉄道輸送の特性や倉庫、パレット、マテハン機器、WMSなどの倉庫・輸送管理システムについて。第四・五章では物流の現場改善や3PL、BCP（事業継続計画）など。第六・七章では国際物流の現状と未来……と、単に列挙するだけで、話題の広範さが分かっただけで、もらえるだろうか。

そんな幅広いトピックを五七の項目に分類し、二〜四ページに凝縮してある。A5判一二八ページで、新書並の取り回しができる。どこからでも読めて、気になった部分をざっと流し読みして、頭の中を素早く整理できる。通勤電車のお供にも最適だ。

(渡邊)